


様式13

会派視察研修計画書

令和元年8月1日

碧南市議会議長 様

会派名

代表者名 林 田 要  印

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	林田 要、生田綱夫、山中謙治、小林晃三、鈴木良和、鈴木清貴、杉浦哲也、沓名 宏		
日 時	令和元年8月5日（月）～令和元年8月7日（水）		
視 察 先	1 防衛省 2 参議院議員 酒井やすゆき 3 国土交通省 4 株式会社 コトブキ		
研 修 内 容	1 陳情 陸上自衛隊豊川駐屯地の体制の現状維持について 2 陳情 憲法改正推進について はじめ5項目 3 研修 PPP・PFI推進、官民連携支援事業について 4 研修 公共施設付帯設備の考え方について		
日 程	8月5日（月）陳情（防衛省） 午後1時から午後2時30分 8月6日（火）陳情（参議院議員会館にて） 午後1時30分から午後3時30分 8月7日（水） 国土交通省（参議院議員会館にて）午前10時から11時30分 株式会社 コトブキ 午後1時から午後2時30分		
交 通 手 段	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 （電車・新幹線）	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 （飛行機）	<input type="checkbox"/> 自家用車

※該当するものにチェック☑してください

会派視察研修報告書

令和元年 9 月 5 日

碧南市議会議長 様

会派名 新政会

代表者名 林田 要 印

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 8名分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	沓名 宏、杉浦哲也、林田 要、鈴木清貴、 小林晃三、生田綱夫、鈴木良和、山中謙治
日 時	令和元年8月5日（月）～令和元年8月7日（水）
視 察 先	東京都 防衛省 参議院議員会館 内閣府 コトブキ（民間企業）
研 修 内 容	防衛省 自衛隊豊川駐屯地の隊員の現状維持を求める要望 参議院議員会館 憲法改正論推進、名浜道路推進を求める要望 内閣府 PPP・PFI 推進について研修 コトブキ 公共施設付帯設備の考え方について研修、視察
日 程	8月 5日（月） 防衛省 8月 6日（火） 参議院会館 8月 7日（水） 参議院会館（内閣府） コトブキ
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和元年8月23日

議員氏名 林田 要 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和元年8月5日（月）～令和元年8月7日（水）
- 2 視察先 東京都（防衛省、参議院議員会館）他
- 3 視察の種類 会派行政視察研修
- 4 視察の成果等

1・防衛省「陳情 豊川駐屯地の隊員数の現状維持を求める」について
山田宏防衛大臣政務官と直接お会いする機会をいただき、碧南市の現状を憂い陳情申し上げた。内容としては、陸上自衛隊の再編に際し、碧南市を含む三河地方の安心と安全を担保される陸上自衛隊豊川駐屯地の隊員数削減計画に対し、可能な限り現状維持をされるよう求めるものである。陳情の際には三河地区のみならず、外交も含めた日本のおかれている現状を解説いただき、近隣国との関係を前提に古典の名著など紹介もいただいた。

2・参議院議員会館 酒井庸行議員 「陳情 国政に関する要望」について
下記4点について碧南市の現状を踏まえつつ説明し、陳情申し上げた。①憲法改正論推進について、②投票済証廃止の推進について、③名浜道路の推進について、④油ヶ淵水質浄化促進について。

3・参議院議員会館 内閣府「PPP・PFI官民連携支援事業」について
内閣府主導で推進されている上記事業について、地域プラットフォーム形成支援、優先的検討規定運用支援をはじめとする各種手法を実例と統計をもとに研修いただいた。特に民間提案活用支援、新規案件形成支援といった碧南市のような小規模自治体でも、政令市を中心とした手法に加わることによるコスト的なメリットは早急に検討するに値すると感じた。

4・東京都港区 株式会社コトブキ「公共施設附帯設備の考え方」について
公共施設本体はもちろん、附帯設備においては運用時の安全対策を大前提に計画、設計をしなければならない。デザインという概念も重要であるが、それは機能美であり、公共施設は安全第一である。

視察研修成果報告書

令和 元年9月5日

議員氏名 沓 名 宏

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和元年8月5日（月）～令和元年8月7日（水）
- 2 視察先 東京都
- 3 視察の種類 新政会会派視察
- 4 視察の成果等

一日目は、防衛省・防衛大臣政務官の山田宏氏に要望をさせていただきました。「陸上自衛隊豊川駐屯地の体制の現状維持を求める」内容である。西三河議長会でも要望が上がったものでもある。三河地方で災害があった時の最後の砦でもある豊川駐屯地の人員削減は当市にとっても、大変不安です。面談の前に時間があつたので、防衛省の敷地内にある「市谷記念館」の説明を受けた。終戦後、ここで極東国際軍事裁判の法廷として使用された建物で、感慨深いものがある。

二日目は、7月21日にあつた参議院選挙で二度目の当選をされた、酒井やすゆき先生に陳情をお渡しした。憲法改正推進・投票済証の廃止・名浜道路の推進・油ヶ淵水質浄化の四点である。刈谷市出身であるので、陳情も良く分かって頂けたと思う。

三日目は、午前中、国土交通省の職員より「PFI」について研修をしたが、当市の職員にも聞いてもらい、官民連携支援を進めて頂きたいと思う。指定管理制度をもう少し民間に任せることは、問題も多く残りそう。午後は、（株）コトブキでの研修である。公共施設付帯設備で当市の「レールパーク」の遊具などにもお世話になっている。鉄のブランコ・滑り台は姿を消し、新しい素材の遊具になっていることに驚いた。安全は大事だが、過剰になりすぎないことを望みたい。

最後に、お世話になった関係各位に感謝を申し上げ視察報告と致します。

視察研修報告書

令和元年8月20日

議員氏名 生田 綱夫

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和元年8月5日（月）～令和元年8月7日（水）
- 2 視察先 東京都新宿区 防衛省
衆議院議員会館 要望書提出
衆議院議員会館 研修
東京都港区浜松町 ㈱コトブキ
- 3 視察の種類 会派視察研修 新政会
- 4 視察の成果等

研修内容

8月5日（月） 東京都新宿区 防衛省（市ヶ谷駐屯地）

防衛大臣政務官への要望書提出

防衛省内 施設見学研修

8月6日（火）

首相官邸見学

衆議院議員酒井議員へ要望書提出

8月7日（水）

衆議院議員会館にて 国土交通省職員による研修

株式会社 コトブキ 「公共施設付帯設備の考え方」について

研修所感

8月5日(月) 防衛省(市ヶ谷駐屯地)

防衛大臣政務官への要望書提出

陸上自衛隊豊川駐屯地の体制の現状維持を求めると題して大臣政務官への要望書提出。

当市に於いて災害時の復旧には欠かせない自衛隊の存続、人員削減をしない現存維持等により配慮を願う要望書提出

防衛省内には市谷記念館がありその建物は極東国際軍事裁判の法廷として使用されたもので、歴史的に非常に貴重なものがそのままの状態、移設されこの地に残っていました。

中には旧軍事大臣室や陛下の休憩所などもそのままの状態に残されていました。非常に暑い中屋外や室内を見学し大変勉強になりました。

8月6日(火) 衆議院議員会館

「要望書の提出」について

衆議院議員 愛知県選出議員 酒井代議士への要望書提出

憲法改正論推進、投票済み証廃止の推進、名浜道路の推進、油ヶ渕水質浄化促進を求める内容の要望書提出

午前中は首相官邸の内部見学をさせて頂きましたが、普段記者会見を行われている場所や、新内閣の記念撮影場所や首相がいつも出入りして記者から質問を受ける場所などを見させて頂きました。当日も記者が何人か玄関奥に控えておりましたが、後で考えると小泉新次郎代議士の結婚発表が行われたようである。

8月7日(水) 衆議院議員会館 会議室

国土交通省職員による、PPP・PFI推進、官民連携支援事業について

内閣府と国土交通省が地域の関係者が主体となったPPP・PFIの推進を一層促進するため「PPP/PFI地域プラットフォーム協定制度」を創設し、協定制度の要件を満たす協定先を決定していそうです。

当市の今後の事業推進にも参考と成り得るものと考えるので、この地域プラットフォームの取り組みを良く研究する必要があると考えられた。

東京都港区浜松町 株式会社 コトブキ

公共施設付帯設備の考え方 ふだんは憩いの庭として、いざというときは「防災ひろば」として活躍する公園づくりの推進は一考するものとする

会派視察研修報告書

令和元年 8月12日

議員氏名 山中 謙治 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和元年 8月 5日（月）～令和元年 8月 7日（水）
- 2 視察先 東京都
- 3 視察の種類 会派視察研修
- 4 視察の成果等

● 8月 5日（月） 防衛省要望書提出

- ・防衛大臣政務官・内閣府大臣政務官である山田 宏参議院議員に要望書提出
陸上自衛隊豊川駐屯地の体制の現状維持を求める

「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」において、今後の陸上自衛隊の体制整備が示され、島嶼部及び北海道への対応重視した防衛力の整備を優先するとのことである。

三河地方にある豊川駐屯地の人員削減が予測される。

豊川駐屯地は地域住民の安全、安心のよりどころであり、人員削減は災害対応に深刻な影響を及ぼすことを心配している。

よって、陸上自衛隊豊川駐屯地の隊員数の現状維持に配慮を要望した。

● 8月 6日（火） 自由民主党 酒井庸行参議院議員に要望書提出

- (1) 憲法改正論推進について
- (2) 投票済み証廃止の推進を求める
- (3) 名浜道路の推進について
- (4) 油ヶ淵水質浄化促進を求める。

上記内容にて要望書と提出、受理いただく

現在、23号線の工事が進行しているが、完成しても渋滞解消にはならない。
今後も渋滞解消のために、新たな道路建設が必要である。

碧南市単独でなく、西三河・知多など連携して要望をしていく事が重要である。

● 8月 7日 (水) PPP・PFI推進、官民連携支援事業について

内閣府 PPP・PFI推進室 阿部企画官、中岡参事官補佐

・ PPP・PFI推進の背景と補助事業

公共施設の老朽化・厳しい財政状況・人口減少の中、適切な公共サービスの維持のためには、PPP（官民連携）・PFI（民間資金活用）の活用が必要との考えから推進している。

内閣府はPPP・PFI調査補助事業として、平成30年度第2次補正予算として、1.7億円を計上し、上限1千万円として23自治体に調査費を支援している。

・ 地域プラットフォーム形成支援（1年限り）

地域におけるPPP/PFI案件の形成の形成能力の向上を図るため、行政、金融機関、企業等の関係者が集い、ノウハウの習得や情報の交換等を容易にする場（地域プラットフォーム）の立ち上げや運営を支援する。

横展開の可能性が高いものについては、サウンディング調査はじめ案件形成に資する支援を併せて実施する。

支援対象

・ 山梨県等、静岡県、大分県、川崎市、名古屋銀行・愛知銀行・中京銀行（愛知）

その他（4種類）の支援制度

・ 優先的検討規定運用支援、民間提案活用支援、新規案件形成支援、高度専門家による課題検討支援があり、ともに1年限りの支援制度である。

● 所見

本市においても、建物・上下水道の老朽化が進んでおり、PPP/PFI活用を今後検討していく必要がある。

愛知県においても地銀3行と東海財務局グループによる地域プラットフォームが立ち上がっているので一度確認してみる必要がある。

● 8月 7日 (水) 公共施設付帯設備の考え方について

(株)コトブキ 深澤社長、伊豆部長、伊野瀬名古屋支店長

・ 公共施設付帯設備の考え方について

公園を取り巻く環境は高齢者の生きがい、子育て環境など大きく変化している。計画にあたってはできるだけオープンな場でワークショップを開催し、広く地域の意見を取り入れ、デザイン、情報発信を行う。

また、市民の方が手作りで作成する部分も取り入れ、公園への関心及び多くの方の利用を促していく事が大事である。

民間との取り組みとして、横須賀市のシャッター商店街において室内の遊び場を開設している。

屋内の遊び場は寒さ、暑さ、雨などの影響を受けず、商店街運営者にとって集客増加につながっている。

自社においても有楽町に屋内遊び場を運営しており、2,500円/時間で子供を預かっている。

遊具、設備等は安全が担保されており、管理者も少人数で運営している。
保護者も安心して子供を預け、買い物や映画等に行ける。

●所見

公園設置においては、その地域の特性や利用者の特性を考えて多くの方の意見を取り入れて、その地域に適した公園を建設すべきだと思う。

また、市民が一部手作りした物を取り入れることにより思い入れや公園の利用・管理にも向上していくと思う。

会派視察研修報告書

令和元年 8月20日

議員氏名 鈴木清貴

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

1 期間 令和元年 8月5日（月）～令和元年 8月7日（水）

2 視察先 ①防衛省
②参議院議員会館
③参議院議員会館
④東京都港区 株式会社コトブキ

3 視察の種類 会派行政視察

4 視察の成果等

①防衛省

陸上自衛隊豊川駐屯地の体制の現状維持を求める要望活動

要望先 防衛大臣政務官 山田 宏氏

要望内容 愛知県碧南市議会新政会は、碧南市民の安心と安全のため、陸上自衛隊豊川駐屯地の隊員数の現状維持について、特段のご配慮を賜りますようお願いします。

②参議院議員会館

国政に関する要望活動

要望先 参議院議員 酒井庸行氏

要望内容 1、憲法改正論推進について
2、投票済み証廃止の推進を求める
3、名浜道路の推進について
4、油ヶ淵水質浄化促進について

（詳細は別添要望書の通り）

③参議院議員会館

研修会

研修テーマ PPP・PFI推進、官民連携支援事業について

講師 内閣府民間資金等活用事業推進室 企画官 阿部俊彦氏
同 参事官補佐 中岡俊晃氏

研修成果 平成31年度PPP/PFIに関する支援対象の決定

① 地域プラットフォーム形成支援（地域におけるPPP/PFI案件の形成能力の向上を図るため、行政、金融機関、企業等の関係者が集い、ノウハウの習得や情報の交換・共有を容易にする場（地域プラットフォーム）の立ち上げや運営を支援）

…山梨県等、静岡県、大分県、川崎市、名古屋銀行・愛知銀行・中京銀行等（愛知県）

② 優先的検討規程運用支援（PPP/PFI手法の適用を従来手法に優先して検討する規程を策定・運用して、具体の事業の進捗を支援）

…丸森町（宮城県）、高浜町（福井県）、下関市（山口県）、小郡市（福岡県）

③ 民間提案活用支援（PPP/PFI事業の実施に当たり、PFI法に基づく民間提案の制度を活用し、民間事業者のアイデアや能力を導入する事業に対して、公募、受付、評価、活用検討等の取組を一連で支援）

…御所市（奈良県：私有地活用）

④ 新規案件形成支援（PPP/PFI事業の導入検討段階で、事業の実現性の明確化や今後の方向性を提示することにより、新たなPPP/PFI案件の形成を支援）

…行田市（埼玉県：産業交流拠点整備）

⑤ 高度専門家による課題検討支援（コンセッション事業、収益型事業、公的不動産利活用事業の実施を検討している地方公共団体等に対し、法律、会計、税務、金融等の高度な専門知識を有する専門家による助言や情報提供等の支援）

…北九州市（鉄道記念館改修運営）

5つの支援の概要と支援内容を解説頂いた。

指定管理制度もPPPの範疇に入る。

碧南市においても今後施設の改修や建替の必要性が検討される中で、PPP/PFI活用の有効性について検討する必要があるものと提言したい。

④株式会社コトブキ

研修会

研修テーマ 公共施設付帯設備の考え方について

講師 (株)コトブキ 代表取締役社長 深澤幸郎氏

研修成果 公共施設の家具や公園等の遊具製造販売業。

防災の観点を備えたベンチ…かまどスツールなど、高齢化少子化、子育て世代も安心して集えるパブリックスペースの公園作りを提案している。

碧南市では、すでにこのようなコンセプトに基づきレールパークが作られているが、今後整備されるスケボー公園にも活かされることを望みたい。

以上を持って研修を終了した。

要望書

1. 憲法改正論推進について

昭和21年6月20日に帝国憲法改正案を帝国議会に提出、昭和21年11月3日、日本国憲法公布、昭和22年5月3日、日本国憲法施行と70年以上もの間変えない為、現在の時代に応じて、すぐわなないところを変えていくのは国として当たり前なので憲法改正を推進してください。

2. 投票済み証廃止の推進を求める

根拠規定がなく、目的が曖昧である投票済み証の交付をやめてください。

3. 名浜道路の推進について

名豊道路(R23)の渋滞解消及び衣浦港、三河港といった広域交通拠点を連結する広域幹線道路、名浜道路の整備促進をお願いします。

4. 油ヶ淵水質浄化促進について

愛知県内唯一の天然湖沼である油ヶ淵は流域の都市化の進展や閉鎖性水域であることなど、全国的に見ても水質汚濁が進んでいます。国・県・市で水質改善をお願いします。

上記の事項について要望いたします。

視察研修成果報告書

令和元年 8月 20日

議員氏名 杉浦 哲也

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和元年 8月 5日（月）～令和元年 8月 7日（水）
- 2 視察先 東京都（防衛省・参議院会館・内閣府等）
- 3 視察の種類 会派視察研修
- 4 視察の成果等

*東京都（防衛省）

8月5日は、防衛省に行き防衛大臣政務官である山田宏参議院議員に直接要望書を提出させていただきました。要望内容は以下の通りです。

「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」において、今後の陸上自衛隊の体制整備が示され、北海道への対応を重視した防衛力の整備を優先するものとし、部隊の効率化、合理化を徹底しながら、北海道以外の特科連隊は、新編される方面直轄の特科部隊に集約されると聞いており、これらの内容は、第10特科連隊を擁する豊川駐屯地の定員削減に関わるものであり、三河部にある碧南市においても大変憂慮するものである。

陸上自衛隊豊川駐屯地は碧南市を含む三河部の地域住民にとって、安全・安心のよりどころであり、人員削減は大規模災害など有事の際、その対応に負の影響を及ぼすことを大変危惧している。よって、碧南市民の安心と安全のため、陸上自衛隊豊川駐屯地の隊員数の現状維持に特段のご配慮を賜りますよう要望いたします。

*東京都（参議院会館）

8月6日は、参議院会館に行き地元選出である自民党の酒井庸行参議院議員と面会し、以下の4点について要望をさせていただきました。

1. 現在の時代に応じた憲法改正を慎重に推進して下さい。
2. 根拠規定がなく、目的も曖昧である投票済み証の交付を廃止して下さい。
3. 名豊道路（R23）の渋滞解消及び衣浦港、三河港といった広域交通拠点を連結する広域幹線道路、名浜道路の整備促進をお願いします。
4. 愛知県内唯一の天然湖沼である油が淵は、流域の都市化の進展や閉鎖性水域であるため水質汚濁が進んでいるので、水質改善のための施策をお願いします。

*東京都（内閣府・株 コトブキ）

8月7日は、内閣府の阿部企画官、中岡参事官補佐から「PPP・PFI推進、官民連携支援事業」について研修を受けた後、民間企業である（株）コトブキ様にお伺いして「公共施設付帯設備の考え方」について研修を受けてきました。

★PPP・PFI推進の背景と補助事業について

公共施設の老朽化、先行き不透明な財政状況、急激な人口減少が進む中、将来に向けた適切な公共施設及びサービスの維持のためには、PPP（官民連携）・PFI（民間資金活用）が必要であるということで、この事業を推進している。

★地域プラットフォーム形成支援について

地域におけるPPP・PFI案件の形成において、その形成能力の向上を図るため、行政、金融機関、企業などの関係者が集まり、ノウハウの習得や情報交換の場（地域プラットフォーム）の立ち上げや運営を支援している。また実現性が高いものについては、サウンディング調査をはじめ案件形成に資する支援も併せて行っている。

★公共施設付帯設備の考え方について

公園を取り巻く環境は少子高齢化や子育て環境の影響により、近年大きく変化している。そんな中、これからの公園整備等の各種計画にあってはできるだけオープンな場でワークショップを開催し、広く地域の意見を取り入れ、デザインや情報発信を積極的に行う必要がある。また、市民が自ら手作りで作成するベンチ等、部分的な市民参加も取り入れ、公園を含む公共施設への関心を高めるとともに、多くの住民が利用しやすい環境を図っていくことが重要である。

様式 15

視察研修成果報告書

令和元年 8月15日

議員氏名 小林 晃三 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和元年 8月 5日（月）～令和元年 8月 7日（水）
- 2 視察先 東京都
- 3 視察の種類 新政会 会派視察研修
- 4 視察の成果等

8月 7日（月） 東京都 防衛省「要望書提出」

東京都 防衛省 防衛大臣政務官山田宏参議院議員に「陸上自衛隊豊川駐屯地の体制の現状維持を求める要望書を提出。

昨今の近隣諸国との関係の中で、防衛計画大綱の見直しや防衛力整備計画が示され、現状では、北海道や沖縄島嶼部への即応体制重視の整備計画が進められる見通しである。そのような情勢から、三河部でも豊川駐屯地の人員削減が予測される場所である。しかしながら、豊川駐屯地は三河地域の安心安全の要であり、有事はもとより、予想されている南海トラフ地震などの自然災害での役割も期待されており、人員削減を行えば、地域の安心安全にとってマイナスの影響を及ぼしかねない。その為に、陸上自衛隊豊川駐屯地の体制維持を要望する。

8月 6日（火） 酒井庸行参議院議員への要望書提出

参議院会館において、自由民主党酒井庸行参議院議員へ

- ・憲法改正論推進について
- ・投票済み証廃止について
- ・名浜道路の推進について
- ・油が湧水質浄化促進について

以上 4点についての要望書を提出。

8月 7日(水) PPP, PFI推進、官民連携支援事業について

内閣府PPP・PFI推進室 阿部企画官、中岡参事官補佐より説明を受ける。

・民間資金等活用事業調査費補助事業について

厳しい財政状況や人口減少、施設老朽化などの問題があり、適切な公共事業の推進・維持には官民連携であるPPP・民間資金活用のPFIの活用推進が必要である。

平成30年第2次補正予算の中で23自治体にPPP・PFI調査補助事業として1.7億円計上している。

・地域プラットフォーム形成支援について

PPP・PFI案件の形成能力の向上を図るため、行政や民間企業、金融機関等の関係者向けに、PPP・PFIの情報交換や推進方法等のノウハウ取得の場としての地域プラットフォーム形成を支援。支援対象としては、名古屋銀行、中京銀行、愛知銀行等の金融機関、静岡県、大分県、川崎市などの自治体がある。

その他にも優先的検討規定運用支援、民間提案活用支援、新規案件形成支援、高度専門家による課題検討支援がある。

所感：碧南市においても施設の老朽化が進んでおり、民間資金の活用も含めた、新しい考え方を検討していく時期が来ているように感じます。愛知県においても地域プラットフォーム形成が進んできているので、情報収集をしながら、碧南市に合った事業推進の方法を検討していきたい。

8月 7日(水) 公共施設付帯設備の考え方について

株式会社コトブキ 深澤社長、伊豆部長、伊野瀬支店長より説明を受ける。

所感：公園施設等の公共施設的环境は一律ではなく、地域性があり、住民のニーズも様々であり、現在では過去に比べて公共施設の役割は大きく変化してきている。子育てをする場であり、高齢者の憩いの場であり、地域住民の無くてはならない場所だと考えている。その上で設計や改築の計画で地域住民の意見を取り入れ、また、参画できることは、公共施設への関心を持っていただく上で大事な事であると感じた。

また、公園については、天候に左右されず、保護者の目が届く室内型の遊び場も各地にできており、本市においても子育て環境を整える意味においては一考する価値はあるように感じました。

視察研修成果報告書

令和元年 8 月 31 日

議員氏名 鈴木良和 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和元年 8 月 5 日（月）～令和元年 8 月 7 日（水）
- 2 視察先 東京都
- 3 視察の種類 会派視察研修（新政会）
- 4 視察の成果等

8 月 5 日（月） 要望書を防衛大臣政務官・山田宏様にお渡ししました。

その内容は「陸上自衛隊豊川駐屯地の体制の現状維持を求める」

国内において脅威的な自然災害が頻発している状況の中、自衛隊の活動は国内外を問わず国民の生命、財産を守るうえで欠くことのできないものである。こうした中で今後の陸上自衛隊の体制整備が示され、島嶼部及び北海道への対応を重視した防衛力の整備を優先するものとし部隊の効率化、合理化を徹底しながら北海道以上の特科連隊は新編される方面直轄の特科部隊に集約されると聞いている。

これらの内容は第 10 特科連隊を擁する豊川駐屯地の定員削減に関わるものであり、三河部にある我々の碧南市においても大変憂慮するものである。

碧南市民の安心と安全の為、陸上自衛隊豊川駐屯地の隊員数の現状維持について、特段のご配慮を賜りますよう要望いたしました。

8 月 6 日（火） 陳情(要望) 国政に関する 4 つの要望を参議院議員・酒井やすゆき代議士にお渡ししました。

(1) 憲法改正論推進について

昭和 21 年 6 月 20 日に帝国憲法改正案を帝国議会に提出、11 月 3 日、日本国憲法公布、昭和 22 年 5 月 3 日、日本国憲法施行と 70 年以上もの間変えない為、現在の時代に於いて、そぐわないところを変えていくのは国として当たり前なので憲法改正を推進してください。

(2) 投票済み証廃止の推進を求める

根拠規定がなく、目的が曖昧である投票済み証の交付をやめてください。

(3) 名浜道路の推進について

名豊道路(R23)の渋滞解消及び衣浦港、三河港といった広域交通拠点を連結する広域幹線道路、名浜道路の整備促進をお願いします。

(4) 油ヶ淵水質浄化促進について

愛知園内唯一の天然湖沼である油ヶ淵は流域の都市化の進展や閉鎖性水域であることなど、全国的に見ても水質汚濁が進んでいます。国・県・市で水質改善をお願いします。

上記の事項について要望しました。

8月7日(水) 参議院会館会議室でPPP・PFI等について勉強会を行いました。初めにPPP・PFI官民連携支援事業推進の背景について説明がありました。

我が国の現状については公共施設等の老朽化、厳しい財政状況、人口減少。適切な公共サービスの維持のためには公共施設等の建て替え、改修、修繕や運営に係るコストの効率化、広域管理、施設集約化等が必要であり、これらを実現する手段の一つとしてPPP・PFIの活用が有効であると考えます。

PFIとは公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、同一水準のサービスをより安く又は同一価格でより上質のサービスを提供する手段です。

今回の勉強会は(1)民間資金等活用事業調査費補助事業についてと(2)地域プラットフォーム形成支援についてです。

(1)については、平成30年度第2次補正予算額は1,7億円で補助金の上限は1000万円で支援対象自治体は23自治体であった。

(2)については、地域におけるPPP・PFI案件の形成能力の向上を図るため行政、金融機関、企業等の関係者が集い、ノウハウの習得や情報の交換等を容易にする場(地域プラットフォーム)の立ち上げや運営を支援。

地域プラットフォームに寄せられる案件候補情報のうちほかの地方公共団体への横展開の可能性が高いものについては、サウンディング調査はじめ案件形成に資する支援を併せて実施となっている。

碧南市においては港湾会館を建て替えするのか。また、この会館の大規模なリフォームをするか。早急に考えていかなければならない。同上の補助金での調査は有効であると考えます。

8月8日(水) 視察研修 株式会社コトブキ(遊び場・遊具等ものづくりの会社) 公共施設付帯設備の考え方についてお伺いしました。子育て環境、少子高齢化、地域コミュニティの形成など暮らしの周りにおける様々な問題、そのすべてが実はコトブキの手掛けるパブリックスペースと深く関係している。

街で暮らす、すべての人がもっと出会い、集い、憩える空間をその在り方から提案し製品を生み出す。求められる賑わいとは何か。その答えを見つけるのがコトブキの使命と言われました。

現在の公園のスタイルはだれでも利用できる。ではなく年齢別、男女別の公園であっても良いのではないのでしょうか。コトブキさんの社長さんは38歳と若く、将来の公園の活かし方のお考えをお持ちであると考えます。ますますのご活躍をご祈念申し

上げます。

碧南市内の各公園を個性の強い公園に今後変えていくことも考えていくべきと考えます。

最後に3日間にわたる関係者各位、感謝を申し上げ視察報告といたします。